

ROSEリポジトリいばらき（茨城大学学術情報リポジトリ）

Title	大学生の読書(座談会)
Author(s)	[記載なし]
Citation	読書・作文(2): 7-7
Issue Date	1971-10-31
URL	http://hdl.handle.net/10109/8634
Rights	

このリポジトリに収録されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作権者に帰属します。引用、転載、複製等される場合は、著作権法を遵守してください。

お問合せ先

茨城大学学術企画部学術情報課（図書館） 情報支援係
<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/toiawase/toiawase.html>

大学生の読書（座談会）

— 精読か乱読か、という問題は陳腐な話題でしかないとも言えます。けれども、一応大学生諸君の中で討論してみるのもよからうと思えますが。

A— そうですね。場合によって違うわけで、精読もよし、速読乱読もよし、ということではないですか。

B— 私は「聖書」を時々読んでいますけれど、これは精読すべきものでしょうね。その外に、自分の言葉を豊富にしたい、知識を広めたい、そんな気持ちから軽いものや文学書などを読んでいます。

— 今まで読もうと考えていて、まだ読めずにいる本、つまり、今読みたいと思う本にはどんなのがありますか、三つ四つあげてみてください。

B— 「人間の壁」「金閣寺」、それから長編の「チボール家の人々」がそうです。それに、ゲーテやヘッセの詩も落ちついて読んでみたいです。

— 少年少女にすすめたい本として、今思いつくのはどんなものですか。

C— トルストイの民話。「人は何で生きるか」、武者小路の「人生論」、菊池寛の「恩讐の彼方」、それから芥川の短編なども。

D— 私は、どうも人にすすめる気にはなりません。たまに自分が感動した本であったとしても、その時のセンチメンタリズムだったかもしれないし、人にはそれぞれ読み方があるわけですし……。

A— 童話などいいがあります。責任を伴わないのなら、その中のいくつかすすめたいと思いますね。詩の本もあったし、それから、愛のことを歌ったような、美しいものなら、何でもいいのではないですか。

— 「大学生と漫画」というテーマで論じるのもいいと思いますのですが。

O— ぼくは漫画を変読しています。いいのがありますからね。

— どんなのがあるのかなあ。作者としてはどんな人がいるのですか。

C— 二人ぐらいいるんですが。長編で、内容的にも高さがありユーモアもありですよ。

B— とにかく、いい漫画にはイメージが湧いてくるし、時には詩が生まれてきます。

— なるほど、私もそんなのを見てみたい。漫画の中にはいいのがあるんだらうとは思っていたのだが。とにかく、漫画本しか読んでないなどと言われるから、本らしい本も読みながら漫画を楽しんでほしい。